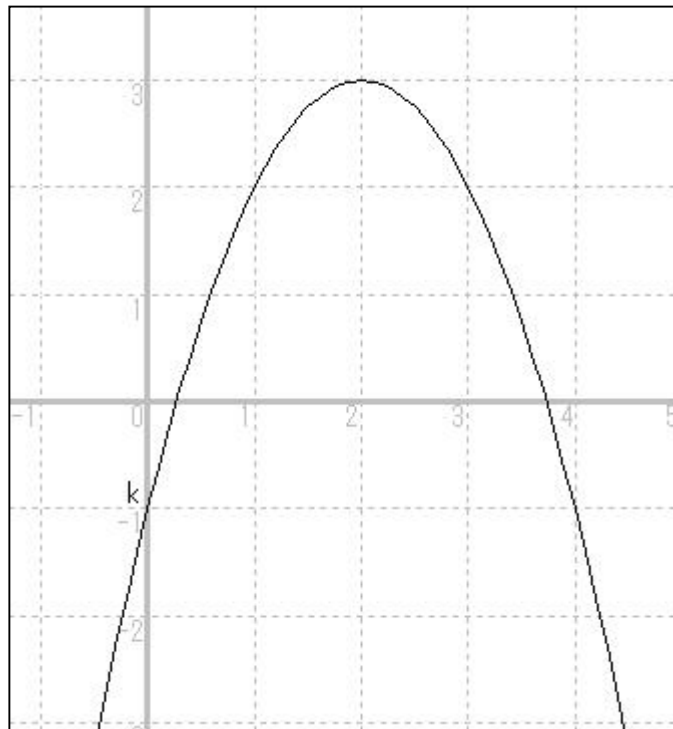


「T1p082RD1.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC
ユーザープログラム 「T1p082RD1.bas」
2. 対応分野 : 東京書籍 数学 p82 2次関数のグラフと x 軸の関係
例題1 2次関数 $y = -x^2 + 4x + k$ のグラフと x 軸の共有点の個数は、定数 k の値によってどのように変わるか。
3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後、「開く」「実行」と操作すると
(1) $k = -1$ (既定値) の場合の関数 $y = -x^2 + 4x + k$ のグラフが表示される。
4. 操作 :



- (1) [] []キーで図の k を上下に移動させることができる。
 - (2) [Enter]キーで作業を終了する。
5. 目的 :
 - (1) k の値に応じて、グラフを上下させ、 x 軸の関係を理解させる。この例題では、軸が固定していることなども、理解させる。
 6. 利用時期 :
 - (1) 例題1 (p82) 指導時
定数 k を変化させること、すなわち、グラフの上下と関数の値の最大の関係を指導する。
 - (2) 指導後の追認作業として用いても良い。
 - (3) 問3 (p83) 2次関数 $y = -x^2 + 6x + k$ のグラフと x 軸の共有点の個数は、定数 k の値によってどのように変わるか。 (「T1p082T03.bas」)